

秋空に恵まれた八木祭り

事故も無く最高の2日間

10月8日・9日の2日間、晴天に恵まれ素晴らしいだんじり祭りとなりました。

だんじり祭りは、豪快で勇ましいが危険な祭りと思われませんが、これほど曳行に関わる関係者の連携の緻密さが要求される祭りでもあります。

いつも危険と隣あわせの中に、安全を最優先にした連携がなされているのです。曳行責任者を中心に、先頭を走る交渉係り、まとい、綱先、綱中、綱元、前艇子、後艇子、小屋根、大屋根、だんじりの周りの安全を固める世話人。すべての連携があつてこそ、初めて安全

な祭りとなるのです。青年団の頑張りを筆頭に、綱先で安全を見守る子ども会・親子の会の役員の方々。側面から支える老人会や婦人会の方々の協力も不可欠で本当に有難いものでした。関係諸団体の皆さんに改めてお礼申し上げます。今後共、伝統文化を守る為、協力よろしくお祈りします。



さあ出発! 緊張する一瞬



さあ頑張るよ!



ほっと一息つく休憩時間(夜疑神社)



黄金の稲穂とだんじり祭り実によく似合う

街角散歩

「祭りの花?」

もう15年余り前の話である。福井県から泉州の地に赴任して来た新任教師の岸和田市居住のマンションに、夜間青年二人が訪ねて来たという。

出てみると、インターフォンに呼び出され

「祭りの花をお願いします」

恥ずかしそうに訴えたという。見れば、大きなタオルの入った包みを抱えていた。

彼女は今日友達からもらった就職祝いのお花束を思い出しそれをそっと差し出したという。

青年二人は、鳩が豆鉄砲でもくらった様な顔をして固まってしまうたらしい。

「花」寄付」と「花」植物の花」をはき違えた話に職場一同大爆笑。



「祭りの花をお願いします」

青年達の驚き顔は想像に難くない。

今や彼女もすっかり岸和田で母親となつて親子でだんじりの後を追いかけていると風の便りに聞いた・・・

みどり病院の先生方が待機で安心曳行

毎年、町内にある「みどり病院」から院長先生初め看護師さんの4名がボランティアでだんじり曳行中休憩所にて待機して、けが等の応急処置の治療にあたり下さつていきます。対応も気さくで、明るくとてもアットホームな先生方です。



休憩所で待機するみどり病院の方々

鳴り物体験で大喜びする園児

9月30日(金) 55名の八木北園児が箕土路町だんじり小屋で、地車保存会役員の指導を受け鳴り物体験をしました。

地車に乗った園児は、大太鼓、小太鼓、鐘をたたき、その音色に合わせ、「ソーリヤ」の掛け声勇ましく大喜び。



初めて鳴り物に触れる園児達

最後は「地車の高さほう」「造った人は？」などの質問コーナーもあり、園児には楽しい伝統文化に親しむひと時となりました。

11・12月の主な町会行事予定

- 11月6日(日) 埋立ゴミ・廃食用油回収
今回は刃物も回収します。
- 13日(日) 評議員会
- 12月11日(日) 評議員会
- 18日(日) 町会館大掃除

